

関連病院実習カリキュラム（産婦人科 1～2 週間）

病院名：碧南市民病院

診療科：産婦人科

期間：1～2 週間

実習管理責任者：杉浦誠治

カリキュラム責任者：西田裕一

実習指導医：西田裕一

1 実習目標

一般目標：

- ① 臨床医としての基礎を築くために、基本的診察方法と基本的検査を取得する。
- ② 産婦人科疾患を診断・治療する上で必要な情報及び検査について理解する。
- ③ 産婦人科疾患を有する患者の心理を理解する。

行動目標：

- ① チーム医療に携わる一員として、医師及び医療スタッフと協調的に活動できる。
- ② 患者及びその家族と適切なコミュニケーションのもとに信頼関係を確立できる。
- ③ プライバシーの保護に配慮しながら、診療に必要な情報収集ができ、問題点を整理できる。

2 実習方略（実習方法）

(1) オリエンテーション

(2) 受持ち患者

常時最低3～4名の患者を担当する。

(3) 病棟実習

- ① 電子カルテをはじめ医療記録、指示書などを作成する。
- ② 症例呈示・経過を要約する。
- ③ 妊娠、分娩、産褥について理解する。
- ④ がん患者に対する医療の実際を見学する。

(4) 入院時カンファレンス

手術前後の患者の症例については毎朝全体で木曜日夕方に行う。

(5) 外来実習

- ① 新来患者の予診をとり電子カルテに記載する。
- ② 自分が予診を取った患者の診察を見学する。この際、患者の同意が得られれば自ら診察し、電子カルテに記載する。

(6) 救急外来実習

- ① 第2あるいは第3助手として手術に参加する。
- ② 女性生殖器を中心とした解剖を理解する。



3 実習評価（チェックリスト）

(1) 診察法

- 全身の系統的な診察を行い、主要な所見を正しく把握できる
- バイタルサインを正しく把握できる
- 患者・家族に対し、身体的・心理的な面に配慮しながら面接できる
- プライバシーの保護について理解し、実行できる

(2) 基本的臨床検査法

- 経腹超音波、経膈超音波の利点、欠点を理解し、基本的な操作ができる
- 細胞診・組織診の意義を理解し、結果を解釈できる
- 検尿、血算、血液凝固検査、生化学検査、血液型検査、交差適合試験、動脈血ガス分析、心電図について結果を解釈できる

(3) 画像検査法

- 胸部・腹部の単純エックス線写真の結果を解釈できる
- 子宮卵管造影の意義を理解し、結果を解釈できる

(4) 手術での実習

- 清潔・不潔について理解でき、正しい手洗い操作を行える
- 正しいガウンテクニックを行える
- 女性生殖器を中心とした解剖を理解できる
- 良性腫瘍、悪性腫瘍の手術の相違について理解できる

(5) 分娩室での実習

- 分娩の進行について理解し、NSTの所見を解釈できる
- 産婦及び夫に対し、心理的な面に配慮しながら励ますことができる

(6) 医療の場での人間関係

- 患者や家族との適切な人間関係をつくることができる
- 指導医及び他の医師、コメディカル・スタッフとの適切な人間関係をつくることのできる

(8) 医療文書の作成

- 適切な診療録・入院診療概要約が作成できる
- 適切な症例呈示ができる